

第4回 教職員のための外国人留学生就職支援研修会

～クロストークセッション～

トピック②「就職希望の留学生に対する日本語指導について」

2021/07/10 (土)

○企業が求める日本語力とは？企業側から

1. 文系と理系で異なる。営業や事務の場合は、社内でのコミュニケーションの比率が高い。やはりN2レベルの日本語力がほしい。技術の場合は、設計を通じてコミュニケーションする比率が高いので、努力してコミュニケーションが取れば良い。仕事を通じて身につけていきたいという意欲と、周囲に可愛がられるような、または頑張っただけで周囲に食らいついていくような人柄のタイプであればやっていけると思う。
2. 日本人学生も含めて95%が理系出身。留学生も理系出身が多い。大学院から留学してきている学生の場合、英語でコミュニケーション取れば良いという学生も多い。社内には英語ができる人ばかりではないので、日本語でコミュニケーションを取らざるを得ない。専門性が高い人や人柄が良いと感じる人であっても、面接で日本語の不足が理由で不合格になることも多い。文系の方の場合は、語学力を上げることを目的としている学生も多いと思うが、弊社を希望するような理系は技術が先立っているので、日本語力が上がらない人もいると思う。

○参加者から企業への質問

- ・就職したい外国人留学生にコミュニケーション能力を求めるとするのはよく聞かすが、漢字はどのくらいできれば良いのか？読みだけで良いのか？書きも必要なのか？
1. 文系の場合は、まず読めれば良いし、話せれば良い。理系は話せれば良い。意図が通じれば良いのでそこまで書く力は高いものを求めている。
 2. 結果として高いレベルを求めてしまっていると思う。採用した方は書ける方が多い。中国の方の場合、メールなど書く能力の方が高い方が多く、話す能力は書きに比べると低い印象。
- ★両社の共通：タイピングで打てれば良い。

○参加者から、その他の参加者への質問①

- ・ここにいらっしゃる学校関係者の方にお聞きしたい。留学生の日本語能力向上の方法として、キャリアセンターや日本語の先生が、正規の授業以外で連携して日本語の教育をしている実践例があれば教えてほしい。大学でそのような計画を考えているので、他校の例をお聞きしたい。

<チャットでの回答>

- ・授業ではありませんが、JLPTを受験する学生に受験料の助成を行っています。
- ・私どもの専門学校は、まだ開学したばかりで留学生のみの学科です。授業外では連携はありません。受験料の助成はありませんが、合格後学費の一部減免はあります。
- ・私が日本語教師兼キャリアコンサルタントなので、自己分析や企業研究などを授業の中でも取り入れています。また、ある大学のキャリアセンターからご依頼をいただいて、N1集中対策講座をさせていただいたことがあります。

(返信) N1集中対策講座はどのような形で実施されたのですか？

(返信の返信) ご質問ありがとうございます。120分×5日間でやりました。5日間連続で

はなく、大学の希望で、週2でやりました。オンラインで実施したため、来日できない学生さんたちもご参加いただいたようです。

- ・本校では、放課後に留学生に対し、日本語上達講座、ビジネスマナー講座、日本文化体験など生活支援や就職支援のフォローを行っております。運営は学生全体をサポートする部署で行っている。

○参加者から、その他の参加者への質問②

- ・美術系の学生がほとんどの韓国にある大学です。留学してせっかく日本語を勉強したが、話す能力ばかりで書く能力が身に付いていない学生が多くおります。書く能力を身につける指導などでどのようなことをしているのかを知りたいです。

<チャット>

- ・以前の留学生に比べると、書く能力と考える能力（あるいはそれをアウトプットする力）が足りなくなっていると感じます。まず、たとえば要約、なども大切だと思います。
- ・以前勤めていた専門学校の話ですが…、
作文演習に特化した授業や、ビジネス文書作成の科目がありました。
- ・「書く力について」：授業では、作文を書くときには論理的に書くように指導しています。”PREP（結論、理由、例、結論）”の順で書く習慣をつけています。
（返信）ありがとうございます。